

宮城本店開設1周年記念式典開催 キューアンドエー 地域貢献に決意

情報通信技術（ICT）のテクニカルサポート事業を展開するキューアンドエー（仙台市）は2月26日、宮城本店開設1周年の記念式を同市青葉区のウェスティンホテル仙台で開催した。

「認知度向上をテーマに「地方共創研修」を開催。作業場や店舗を訪問し、伝統工芸品の新たな可能性を探るなどしている。サポーター企業に登録されるのは同社が8社目。

東北大院工学研究科の舘田あゆみ特任教授、七十七リサーチ&コンサルティン（仙台市）の田口庸友首席エコノミストによるパネルディスカッションも行われた。舘田

特任教授は東北大が進める地域企業の支援事例や実績を紹介。田口氏は「人口減少・労働力不足時代において『競争より協業』へシフトする必要がある。各企業が培ったノウハウや設備を共有し、連携していかなければならない」、畠山常務は「東北大の知識や七十七銀行のデータを企業間で共有し、地域全体で成長するモデルを宮城で実現していきたい」とそれぞれ述べた。

「企業」の成長とは？
地域経済の現状を踏まえ、今何が必要なのかを考える」とのテーマで、同社宮城本店長の畠山常務

が、同社の宮城本店開設1周年記念式典で、同社の宮城本店長、野村社長ら約70人が出席。同社の野村勇人社長が「今年には仙台に拠点を開設して20年の節目。地域に寄り添い、課題解決に伴走することでこれからも宮城を盛り上げていき

たい。そのために皆さんと知恵を出し合い、協力していけたら」と述べ、さらなる地域貢献への決意を誓った。

記念式の中で来賓の村井嘉浩宮城県知事は、同社が県の伝統的工芸品の普及に積極的に取り組む「みやぎ伝統的工芸品サポーター企業」に決まったことを受け、登録証を野村社長に交付した。

野村社長は、同社の宮城本店開設1周年記念式典で、同社の宮城本店長、野村社長ら約70人が出席。同社の野村勇人社長が「今年には仙台に拠点を開設して20年の節目。地域に寄り添い、課題解決に伴走することでこれからも宮城を盛り上げていき

キューアンドエーは、若手社員が県の伝統工芸

の普及に積極的に取り組む「みやぎ伝統的工芸品サポーター企業」に決まったことを受け、登録証を野村社長に交付した。

野村社長は、同社の宮城本店開設1周年記念式典で、同社の宮城本店長、野村社長ら約70人が出席。同社の野村勇人社長が「今年には仙台に拠点を開設して20年の節目。地域に寄り添い、課題解決に伴走することでこれからも宮城を盛り上げていき

ピックアップ



登録証を受け取る野村社長（右）



畠山常務らが登壇したパネルディスカッション

野村社長は、同社の宮城本店開設1周年記念式典で、同社の宮城本店長、野村社長ら約70人が出席。同社の野村勇人社長が「今年には仙台に拠点を開設して20年の節目。地域に寄り添い、課題解決に伴走することでこれからも宮城を盛り上げていき